

日時計を作ろう！

おおさかふきょういく ふぞくこうこう まつもととき
大阪府教育センター附属高校 松本基希

ワンダーちがく しばかわあきよし
芝川明義

1. きみたちへのメッセージ

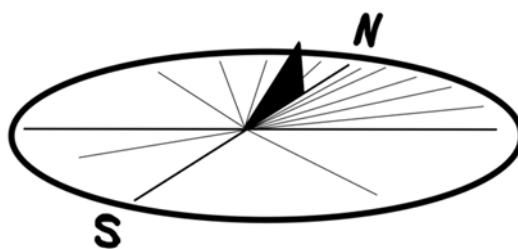
みな とけい み ひ
皆さんは時計を見ない日がありますか。きっとないと思います。それくらい時計は日常生活に無
くてはならない存在です。では、^{げんざい}現在の^{きかいとけい}ような^{じだい}器械^{ひと}時計^{じこく}がない時代に、人はどのようにして時刻や
^{じかん}時間^しを知^{おも}った^{じつ}と思^{たいよう}います^{うご}か^{かんさつ}か。実は、太陽の動きを観察することで、その陰の動きから時刻を知り
ました。それを^{りよう}利用^{ひどけい}したのが日時計です。日時計には^{けいしき}いろいろな形式^{げんり}がありますが、原理はどれも
^{いっしょ}一緒^{ひどけい}です。日時計^{つく}を作^{じっさい}って^{じこく}実際に時刻^{しら}を調^{ちきゅう}べて^{たいよう}みる^{いちかんけい}ことで、地球^{ちきゅう}と太陽^{うご}の位置^{ちきゅう}関係^{うご}や地球^{うご}の動き
について^{りかい}理解^{しまし}ましょう！

2. 用意するもの

のり、はさみ、セロハンテープ、日時計を印刷した型紙（会場^{ほういじしやく}で配布^{はいふ}します）、方位磁石^{かいたがみ}

3. 作りかた

1. 日時計作成用の型紙を指示に従って切り取ります。
2. 陰を作るための三角形の用紙を数字が書いてある日時計の型紙にのりやテープで貼り付けます。（三角形は下の図のように貼り付けてください。）



4. 日時計で時刻を調べてみよう

たいよう で
太陽が出ているときに、完成した日時計の12時を真北に向けて、陰が伸びた先の数字が現在の
時刻になるはず^{ひどけい}です。日時計^{しら}で調^{じこく}べた時刻^{みちか}と、身近な時計^{とけい}の時刻^{じこく}を比^{くら}べてみま^しょう。

5. 工作のちゅうい

はさみを使うときは、手を切らないように十分注意^{じゅうふんちゅうい}しましょう。